

2022年6月30日

第21期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

## 貸借対照表及び個別注記表

株式会社 エイチ・ツー・オー システム

# 貸借対照表

(2022年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
( 資 産 の 部 )	274,685	( 負 債 の 部 )	147,786
流 動 資 産	270,973	流 動 負 債	139,807
現 金 及 び 預 金	1,205	未 払 金	51,897
売 掛 金	68,056	未 払 費 用	12,025
仕 掛 品	14,560	未 払 法 人 税 等	50,440
前 払 費 用	386	未 払 消 費 税 等	19,460
短 期 貸 付 金	186,196	預 り 金	433
未 収 入 金	569	賞 与 引 当 金	5,550
固 定 資 産	3,712	固 定 負 債	7,978
有 形 固 定 資 産	217	退 職 給 付 引 当 金	7,978
器 具 及 び 備 品	217		
無 形 固 定 資 産	3,494	( 純 資 産 の 部 )	126,899
ソ フ ト ウ ェ ア	3,494	株 主 資 本	126,899
		資 本 金	10,000
		利 益 剰 余 金	116,899
		利 益 準 備 金	787
		そ の 他 利 益 剰 余 金	116,111
		繰 越 利 益 剰 余 金	116,111
合 計	274,685	合 計	274,685

# 個別注記表

## 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産  
評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

仕掛品	個別法
商品	総平均法による原価法

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法

無形固定資産 定額法

4. 引当金の計上基準

賞与引当金 従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当社退職金支給規程に基づき、自己都合による期末退職金要支給額を計上しております。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

控除対象外消費税等の会計処理 控除対象外消費税等は、発生事業年度の費用として処理しております。

6. 収益及び費用の計上基準

当社は、情報システムの開発、保守及び運用等を行っており、約束した財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。システム保守・運用については顧客との契約における履行義務の充足に伴い、契約により定められたサービス提供期間にわたって収益を認識しております。また、システム開発等については、成果物の納品または役務の提供により主な履行義務が充足されることから、当該履行義務を充足した時点で収益を認識しております。

## 当期純損益金額

当期純利益 101,249千円